

ナラ枯れ被害対策の連携強化に関する取組みについて ～岩手南部森林管理署と県南広域振興局が協定締結～

1 はじめに

県南広域振興局（遠藤達雄局長）では、県南部に発生が確認されたナラ枯れの被害防止対策に取り組むため、岩手南部森林管理署（藤原豊宏署長）と被害対策の連携強化に関する協定を締結するなど取組の強化を図ることとしたので、その概要について報告します。

2 被害対策連携強化に関する協定締結

協定締結式は、去る7月31日に奥州市で行われ、遠藤局長と藤原署長が協定書に署名しました。

協定の内容は、①連携した監視強化 ②被害木等の情報共有 ③被害木の現地調査結果の共有 ④連携した防除対策など5項目となっています。ナラ枯れの発生時期を迎え、監視強化に努めていきます。



【協定書の締結】

3 ナラ枯れ被害通報協力員の設置

ナラ枯れ被害対策については、被害木を早期に発見し、駆除することが重要となっていますが、行政機関だけの力では広大な森林での被害木の発見は難しくなることが懸念さ

れます。

このため、県南局では一般住民の方々などを対象とした被害木の通報協力員を募集し、被害木の早期発見に協力いただくこととしました。

同日、登録証の交付式を行いました。通報協力員の登録者は67名（7月31日現在）となっています。



【通報協力員登録証交付式挨拶】

4 ナラ枯れ被害対策セミナー

登録証交付式に引き続き、第1回ナラ枯れ被害対策セミナーが開催されました。

今回のセミナーでは、下記内容について行いました。セミナーは、9月上旬に花巻、一関地区でも開催する予定です。

内 容	講 師
ナラ枯れ被害の現状と予防対策	県農林水産部森林整備課 整備課長 赤澤 由明氏
ナラ枯れ防除対策としての更新伐の促進	県南広域振興局林務部 林業振興課長 鈴木 清人氏
更新伐の取組事例について	新北菱林産(株) 常務取締役 今堀 悟朗氏